

Vietcombankを通じた ベトナムにおける再生可能エネルギー事業支援について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、株式会社国際協力銀行（以下「JBIC」）、株式会社常陽銀行および株式会社滋賀銀行と協調し、Joint Stock Commercial Bank for Foreign Trade of Vietnam（以下「Vietcombank」）に対し、本日、総額300百万米ドルを限度とするクレジットラインを設定しました。

Vietcombankは、1962年10月に設立されたベトナム最大手の国営商業銀行であり、2011年より〈みずほ〉とは資本・業務提携関係にあります。出資以降、両社は戦略的パートナーとして、ベトナム現地企業・個人に対する金融ソリューションの提供を通じ、現地経済成長へ向けた支援に取り組んでいます。

今般の融資は、ベトナムにおける再生可能エネルギー事業に必要な資金を、Vietcombankを通じて融資するものです。ベトナム政府はベースロード電源構成の石炭火力割合を減少させる一方、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー等を増加させる計画で、本融資はベトナムでのエネルギートランジション推進を官・民協働で後押しするものです。

みずほ銀行は、本融資を通じ、日本政府が主導するアジアの国々の実情に即した脱炭素化と経済成長を理念として掲げる「アジア・ゼロエミッション共同体」構想に沿って、VietcombankやJBICと連携し、ベトナムの経済・産業発展および日越ビジネス促進に貢献していきます。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

以 上